

形式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	有棘細胞癌	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Utility of sentinel lymphadenectomy in the management of patients with high-risk cutaneous squamous cell carcinoma	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し ( 1 )	
	ガイドライン上での目次名称	SCCCQ6-3	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 ( IV )	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Dermatol Surg	
	雑誌 ID		
	巻	29	
	号	2	
	ページ	135-140	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 ( 1 )	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 ( 2 )	
	発行年月	2003	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Reschly MJ	Department of Internal medicine, Division of Dermatology, University of South Florida College of Medicine, USA
	その他著者 1	Messina JL	
	その他著者 2	Zaulyanov LL	
	その他著者 3	Cruse W	
	その他著者 4	Fenske NA	
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	臨床的に所属リンパ節を触知しないハイリスクの有棘細胞癌症例のセンチネルリンパ節の臨床・病理学的所見		
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究		
	セッティング	1 病院		
	対象者	High risk cutaneous squamous cell carcinoma で臨床的にリンパ節腫脹のない 9 例		
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず ( 3 )		
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず ( 3 )		
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず ( 22 )		
	介入 (要因曝露)	センチネルリンパ節生検		
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分	
		1	同定	1.主要 2.副次 3.その他 ( 1 )
		2		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
		3		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
		4		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
		5		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
		6		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
		7		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	8		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
	9		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
	10		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
	主な結果	臨床的に N0 症例 9 例中 4 例にセンチネルリンパ節への転移が病理組織学的に見つかった。4 例中 2 例はその後に転移が出現し 2 年以内に原病死した。センチネルリンパ節転移(-)の 5 例は中央値 8 か月 (平均 13 か月)の経過観察期間中、経過良好であった。		
	結論	症例数は少ないが四肢、体幹の有棘細胞癌に対してセンチネルリンパ節生検は妥当な方法であると考えられ、この方法は臨床的に所属リンパ節を触れないハイリスク症例に対する重要は手技となる可能性があると考えられる。		
	備考			
レビューワーコメント	レビューワー氏名	山崎直也		
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 ( IV ) 皮膚原発の有棘細胞癌に対するセンチネルリンパ節の有用性を示唆する報告と考える。		

		<p>少数例の研究で症例集積研究ともいえるが、長期的に観察している貴重なデータであり、後ろ向きコホート研究に準ずるのもと評価した。</p>
--	--	---